

各 位

# 株式会社 三菱ケミカルホールディングス

本店所在地 東京都港区芝五丁目 33 番 8 号 代表者名 代表取締役社長 冨澤 龍一 (コード番号 4188) 問合わせ先 広報・IR 室長 中山 哲也 TEL 03(6414)4870

# 連結及び個別業績予想の修正並びに配当実施に関するお知らせ (三菱化学株式会社分)

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月12日(平成17年3月期決算発表時)発表の三菱化学株式会社の連結及び個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

(注)億円未満の端数は四捨五入して表示しております。

## 1. 平成17年9月中間期連結業績予想の修正(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

	単位	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)					
(平成17年5月12日発表)	億円	11,500	600	5 6 0	280
今回修正予想(B)	億円	11,300	7 1 0	7 5 0	4 1 0
増減額(B-A)	億円	200	1 1 0	190	1 3 0
増減率	%	1 . 7	18.3	33.9	46.4
前期(平成16年9月中間期)実績	億円	10,390	680	6 9 2	2 4 6

## 2. 平成17年9月中間期個別業績予想の修正(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

	単位	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)					
(平成17年5月12日発表)	億円	4,610	180	2 3 0	1 7 0
今回修正予想(B)	億円	4,640	2 2 0	3 4 0	1 8 0
増減額(B-A)	億円	3 0	4 0	1 1 0	1 0
増減率	%	0.7	22.2	47.8	5.9
前期(平成16年9月中間期)実績	億円	4,074	2 2 8	3 0 3	1 5 1

#### 3.業績予想修正の理由

#### (連結業績予想)

中間期の売上高は、若干前回予想を下回る見込みです。営業利益は、情報電子事業や鉄鋼関連事業の堅調な需要により機能化学セグメントが好調に推移したことや、ヘルスケアセグメントにおいて研究開発費等の支出が予想を下回ることや経費の節減などにより、前回予想を上回る見込みです。また、経常利益及び当期利益につきましては、為替差益の発生や持分法投資利益の増加もあり、前回予想を上回る見込みです。

通期予想(㈱三菱ケミカルホールディングス)につきましては、同日発表の「連結及び個別業績予想について」をご覧下さい。

中間期の売上高・営業利益セグメント別予想は下記の通りです。

<u>中間期セグメ</u>	(億円 <u>)</u>			
	今回修正	前回発表	増減	(16年9月期)
石化	4,940	5,080	140	(4,279)
機能化学	2,630	2,640	10	(2,339)
機能材料	1,740	1,750	10	(1,747)
ヘルスケア	1,410	1,420	10	(1,379)
サービス	580	610	30	(646)
合 計	11,300	11,500	200	(10,390)

中間期セグメ	ント別営業	(億円)		
	今回修正	前回発表	増減	(16年9月期)
石化	160	160	0	(234)
機能化学	280	220	60	(217)
機能材料	110	100	10	(110)
ヘルスケア	170	150	20	(129)
サービス	50	30	20	(48)
コーホ゜レート	60	60	0	( 58)
合 計	710	600	110	(680)

(注) 当中間期より、連結子会社1社についてその所属する事業区分をヘルスケアセヴメント から機能化学セヴメントへ変更しており、16年9月期の数値についても組替を行っております。

#### (個別業績予想)

中間期の売上高につきましては、概ね前回予想並を見込んでおります。営業利益につきましては、情報電子事業や鉄鋼関連事業の堅調な需要により機能化学セグメントが好調に推移したことなどにより、前回予想を上回る見込みです。また、経常利益につきましては、受取配当金の増加及び為替差益の発生などもあり、前回予想を大幅に上回る見込みです。当期純利益につきましては、在外連結子会社のユカセラヤにおいて、原油市況の高騰に伴うスプレッドの急激な縮小により損益が大幅に悪化したため、当該投資有価証券の評価損が約110億円発生し特別損失が増加するものの、前回予想を若干上回る見込みです。

<sup>\*</sup>上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料発表日現在における将来の業績に 影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大き く異なる結果となる可能性があります。

## 4.中間配当実施の理由

第12期中間期の業績見込み、並びに本年6月28日開催の当社定時株主総会における共同持株会社の設立承認議案において3円を限度に中間配当金を支払うことを表明していることを踏まえ、第12期中間配当を下記の通り実施いたします。

三菱化学株式会社の平成18年3月期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)中間配当

	前回予想 (平成17年5月12日発表)	今回発表	(ご参考)前期実績 (平成 17 年 3 月期)
1 株当たり 中間配当金	3円00銭	3 円 00 銭	-

以上